

## 「全鍍連」 2021年7月号 理事長のよこがお

千葉県鍍金工業組合 理事長 福井 順子 (福井電化工業(株) 代表取締役会長)

「ダーティ オールド プレイター !?( Dirty Old Plater !? )」



長いコロナ禍でのお仕事、皆様はいかがお過ごしでしょうか？アメリカでは、かなりワクチン接種が進み、先日のバイデン大統領の100日目のスピーチでも経済回復への大きな期待が感じられました。日本では、長い長いトンネルの中で、遠くに明るい出口が見え始めた・・・というところでしょうか？

さて、今回お話しすることは「昔むかし、私がまだ若かった」頃のお話です。私は4人姉妹の長女で、幼少期から会社の後を継ぐ（私のご主人が）と、育てられました。お陰様で何不自由ない生活をさせていただき、これも父の努力と会社の人達のお陰と思い、私も後を継ぐことは当たり前のことと考えておりました。

そんな時、あるアメリカ人の方から「ジュンコは、ダーティ オールド プレイターになるのか？」と言われたことがあります。私は、一瞬驚きましたが、すぐに肯定の返事を返したと記憶しております。

しかし、この質問はずっと私の心に残り、何かにつけてチラチラと思い出して来ました。

白人の文化（この様にひとくりに言ってしまうとよいか疑問ですが）では、優位な仕事はホワイトカラーで、肉体労働は下のレベルという考えがあると思います。実際に現在でも欧米諸国では、肉体労働は移民や難民の仕事で、欧米では、移民や難民に仕事を取られたので、制限しようという動きもあります。

しかし、東洋の儒学等では、身体を動かして働くことは美德であり、働けることに感謝すべきものという考え方があります。長年この言葉と共に生きて来た結論として、私は日本で生き、父の仕事にプライドを持って過ごせたことは、ありがたいことという結論に至り、その結論を出せたことに幸せを感じております。

デスクワークやパソコンでは、食べるものも生活に必要なものも作ることはできません。

農業も工業も商業も、私達はプライドを持ってこそ、より良いものを生み出す力があると信じています。そして、その様な考え方で生きることができれば、「ホワイトカラーでなければ・・・」と考える国より良いものを作り、一人一人は大金持ちでなくても、全体としては競争優位の品を作り、豊かで幸せな国を築くことができると思います。

「ビーチで一日寝そべっているより、働いている方が幸せ・・・」という考え方は間違っているのでしょうか？

この様に書かせていただきましたが、我々の業界の発展に大きく寄与して下さった Mr.ブラウントの様な方もいたことを忘れてはいけないし、上記の様な考え方はばかりではないことを最後に申し添えたいと思います。

話は変わりますが、来る10月22日(金)には、私共千葉県鍍金工業組合がメインホストとなって関東甲信越静岡の

ブロック会議が開かれる予定です。会場は、京葉線で「イノセント」のある舞浜駅の次の新浦安駅前のホテルで、東京駅から 20～30 分程度の距離ですので、皆様奮ってご参加下さいませ。極小組合の為、至らない点もあると存じますが、ファイトあふれるメンバーが少しでも有意義な会にする様努力する所存でおりますので、どうぞ支援の程、よろしくお願い致します。

また、私ごとではございますが、従来の副理事長、増田工業(株)の後藤社長が体調を崩されている為、本年度より従来の青年部長の瀧澤一泰（三幸鍍金(株)）が副理事長に、矢口高史（(株)ケーヨーハード）が青年部長になり、増田工業(株)からはご子息の後藤裕取締役が理事に加わりましたので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

関東甲信越静岡の皆様、10 月にお会いできるのを組合員一同楽しみにお待ち申し上げます。